

NWEC



2010年

国立女性教育会館 概要

Guide to the National Women's Education Center of Japan



独立行政法人
国立女性教育会館

男女共同参画社会実現のための 学びの拠点—NWEC(ヌエック)

独立行政法人国立女性教育会館(ヌエック)は、わが国唯一の女性教育に関するナショナルセンターであり、男女共同参画社会の形成をめざし、女性教育指導者や関係者に対する研修、女性団体・家庭教育支援団体等の交流機会の提供、女性教育・家庭教育に関する専門的な調査研究、女性・家庭・家族に関する情報収集・提供の充実を図る学習の拠点としての役割を果たしております。

平成22年度は新たに大学における男女共同参画を推進するために男女共同参画室等の関係者のための研修、女子学生の就職支援セミナーなどの研修事業に取り組めます。交流事業は、「男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)」、「交流学習会議」、これまで継続してきた夏の「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム」の三つを、それぞれ特徴を持たせて行い、三大交流事業として拡充を図ります。女性情報ポータルWinet(ウィネット)の充実による情報事業の充実、そして男女共同参画統計については、その活用を進めるネットワークの構築、国際的事業としては「科学分野における男女共同参画に関する日米シンポジウム」を米国科学財団との共催で実施するなど、これまでの実績の上に新たな取り組みを行い、積極的に会館の事業を深め、拡げて参りたいと存じます。

皆様のご利用とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

理事長 神田 道子

愛称「ヌエック」:「ヌエック」は英語名称National Women's Education Centerの頭文字NWECを読んだものです。

目 的	3
沿 革	4
事 業	5
平成22年度事業	5
女性教育情報センター	6
刊行物等	9
利用状況	10
トピックス	12
施 設	15
利用案内	18
国立女性教育会館ボランティア	19
運営委員会委員、外部評価委員会委員	20
組織図	21
施設配置	22



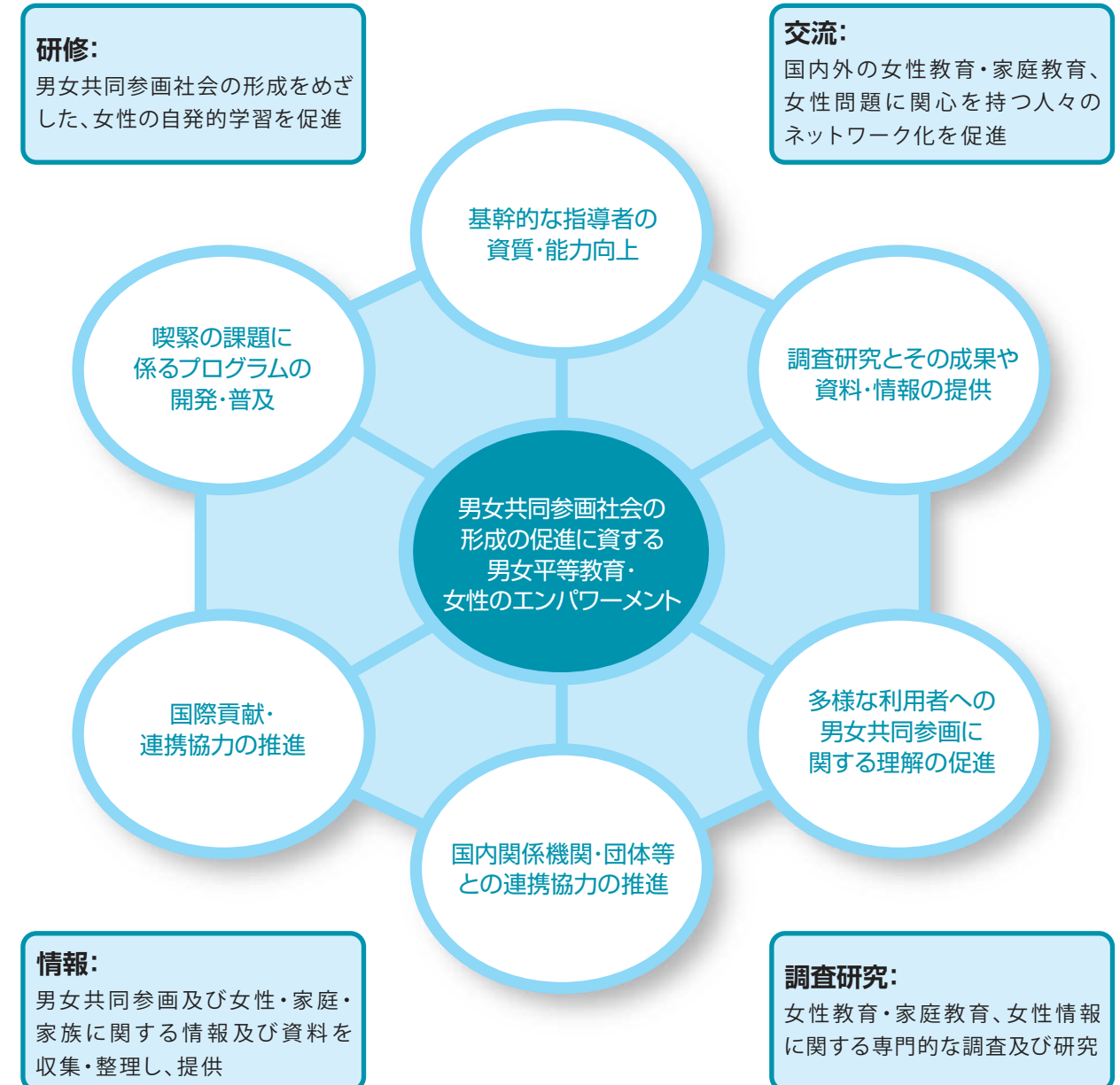
シンボルマーク
「両手を空に掲げ、希望に燃える女性像」をデザイン化したものです。

目 的



独立行政法人国立女性教育会館は、女性教育指導者その他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、男女共同参画社会の形成に資することを目的としています。

会館は、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている中期目標に基づき、研修・交流・情報・調査研究の四つの機能を活用して各事業を実施しています。



中期目標(平成18~22年度)



「国立婦人教育会館」から「独立行政法人国立女性教育会館」へ

昭和46年	7月	婦人教育会館調査研究協力者会議発足
昭和52年	7月	文部省の附属機関として国立婦人教育会館が設置される(庶務課(平成14年4月から「総務課」と改称)、事業課)
	10月	受け入れ事業開始
	11月	開館式
	12月	研修事業(全国婦人団体研究集会)開始
昭和53年	3月	「会館だより」(昭和60年8月から「国立婦人教育会館ニュース」、平成9年4月から「ヌエックニュース」に誌名変更)創刊
	4月	情報交流課設置(平成14年11月から「情報課」に組織変更)
	8月	国立婦人教育会館ボランティア登録開始
	9月	調査研究事業(婦人教育研究セミナー)開始
	12月	体育館・屋内プール完成
昭和54年	3月	日本家屋(響書院)・茶室(和庵)完成
	9月	婦人教育国内研修受入れ事業開始
	10月	「婦人教育情報」創刊(平成9年3月終刊)
	11月	情報図書室開室(昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)
昭和57年	11月	開館5周年記念事業開催
昭和59年	11月	「NWEC Newsletter」創刊
昭和60年	5月	情報協力者会議「婦人教育情報センター基本構想」を報告
昭和62年	5月	利用者100万人を超える
	11月	開館10周年記念事業開催、婦人教育情報センター開所(平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)
平成3年	7月	オンライン情報検索サービス開始(平成11年1月からホームページを通してWINETデータベースを公開)
平成5年	4月	事業課に研究員配置、科学研究費補助金取扱規程が規定する「研究機関」となる
平成6年	3月	パソコン通信システム「WINET-BBS」導入
	4月	国立婦人教育会館将来構想検討委員会「国立婦人教育会館の将来について」を報告
平成7年	12月	ホームページをインターネットで公開
平成8年	11月	利用者200万人を超える
平成9年	1月	愛称を「ヌエック」に決定
	10月	「国立婦人教育会館研究紀要」創刊(平成18年8月から「国立女性教育会館研究ジャーナル」に誌名変更)
	11月	開館20周年記念事業開催、シンボルマーク決定
平成10年	3月	「WINET情報」創刊(平成14年3月終刊)
平成11年	1月	ホームページからWINETデータベース、研修室・宿泊室予約状況等を公開
平成12年	3月	ヌエック女性情報ニューシステム(ウイネットキャス=WinetCASS)公開
平成13年	1月	名称を「国立女性教育会館」と改称
	4月	「独立行政法人国立女性教育会館」設立
	7月	「独立行政法人国立女性教育会館運営委員会」設置(8月第1回委員会開催)
平成14年	11月	研究国際室設置
平成18年	1月	女子栄養大学と連携協定を締結
	2月	日本女子体育大学と連携協定を締結
	4月	女性情報ポータル「Winet(ウイネット)」公開
	4月	韓国両性平等教育振興院と交流・協力協定を締結
	6月	利用者300万人を超える
	9月	韓国女性開発院と研究交流・協力協定を締結
平成19年	11月	開館30周年記念事業開催
平成20年	6月	女性アーカイブセンター開設
平成21年	3月	フィリピン大学機構と学術協力に関する協定締結
	5月	中国延辺大学と研究交流・協力協定を締結



国立女性教育会館が主催する事業と女性教育、家庭教育等に関する研修・交流・調査研究・情報収集を計画する団体・グループ・個人が自主的に作成したプログラムによる事業があります。

希望により会館利用プログラムについての相談や、女性、家庭・家族に関する最新の情報提供を行っています。



平成22年度事業



国立女性教育会館は女性教育のナショナルセンターとしての役割を果たすため、内外の関係機関・団体等とのネットワークの拡大を図り、ヌエックが真に担うべき事業に重点化し、その成果の普及・活用を図ります。

□ 基幹的な女性教育指導者等の資質・能力の向上

- 地方公共団体等の基幹的指導者に対する男女共同参画及び女性教育を進めていく際に必要な総合的な知識等に関する研修及び調査研究を実施します。また、調査研究の成果を基に、基幹的指導者の資質・能力向上を目的とする学習プログラムや参考資料を作成します。
 - ・女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修(6月)
 - ・大学・研究機関のための男女共同参画推進研修(6月)
 - ・男女共同参画推進拠点としての女性関連施設に関する調査研究

□ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する喫緊の課題に係る学習プログラム等の開発・普及

- ナショナルセンターとして先駆的に喫緊の課題に関する調査研究を実施し、成果をもとにした学習プログラム・参考資料の開発・普及を図ります。
 - ・経済的自立につながる女性の課題解決型地域活動に関する調査研究
 - ・男女共同参画の視点に立った地域全体で取り組む次世代育成支援事業に関する調査研究
 - ・家庭教育・次世代育成のための指導者育成セミナー(5月)
 - ・女性のキャリア形成支援推進研修(7月)
 - ・女性関連施設相談員研修(10月)
 - ・女子学生就活支援者セミナー(3月)
 - ・男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)(8月)
 - ・男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)(11月)
 - ・交流学习会議(3月)

□ 男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する調査研究の成果や資料・情報の提供等

- 全国的女性関連施設等の有する女性教育に関するプログラムなどの地域レベルでは収集困難な広域的・専門的な国内外の資料・情報の収集、提供に重点化を図り、利用しやすいポータルとデータベースの構築を図ります。
 - ・男女共同参画の推進に向けた統計の活用に関する調査研究
 - ・女性情報ポータルの整備充実
 - ・女性アーカイブの構築
 - ・女性・家庭・家族に関する情報資料の収集・整理・提供
 - ・レファレンス・サービス及び文献複写サービス、貸出サービス
 - ・女性・家庭・家族に関する図書資料の展示

□ 女性関連施設等男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する

国内の関係機関・団体等との連携協力の推進

- ・NWEC男女共同参画プログラム
(平成21年度実績)
- ・女子中高生夏の学校2009～科学・技術者のたまごたちへ～(8月 科学技術振興機構委託事業)
- ・配偶者からの暴力被害者支援セミナー(8月～1月 内閣府委嘱事業)

□ 男女共同参画及び女性教育に関する国際貢献、連携協力の推進

- 国際協力・連携に資する女性のエンパワーメント支援のために、開発途上国、特に国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)加盟国の女性教育行政担当者及びNGO等関係団体の指導者に対する男女共同参画及び女性教育に関する参加型の実践的な研修を実施します。
- ・アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー(9月～10月)
- ・女性のエンパワーメント国際フォーラム(10月)
- ・科学分野における男女共同参画に関する日米シンポジウム(7月 米国科学財団との共催)
- ・人身取引の防止のための教育・啓発と連携方策に関する調査研究
(平成21年度実績)
- ・国別研修ナイジェリア(5月 国際協力機構委託事業)
- ・国別研修タイ(11月～12月 国際協力機構委託事業)
- ・女性の教育推進セミナーII(1月～2月 国際協力機構委託事業)



女性教育情報センター

女性教育情報センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web上で公開しています。

(<http://www.nwec.jp/jp/center/>)

□ 収集資料(平成21年3月末現在)

項目	和		洋		計		
	20年度受入	累計	20年度受入	累計	20年度受入	累計	
図書資料	図書	2,399 除籍△51	68,296	295 除籍△8	20,934	2,694 除籍△59	89,230
	地方行政資料	540	24,129	0	8	540	24,137
	計(冊数)	2,939	92,425	295	20,942	3,234	113,367
逐次刊行物	雑誌(タイトル数)	91 △23	3,030	30	677(59か国)	121 △23	3,707
	新聞	0	74	0	1	0	75
その他	新聞切り抜き	19,443	261,859	—	—	19,443	261,859
	AV資料※	122	137	4	7	126	144
	研修貸出用資料※	1	14	0	0	1	14

※毎年見直しを実施

□ 情報サービス

閲覧：女性教育情報センター内で自由に閲覧できます。研究用に閲覧用個室(2室)もあります。
貸出：会館内貸出及び女性センター・図書館等を通じた館外貸出を行っています。
 平成22年7月より試行的に来館者への個人貸出を開始します。

レファレンスサービス：利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えています。直接来館の他、電話や文書、Eメールでも受け付けています。

文献複写サービス：所蔵資料について、文献複写サービスを行っています。直接来館の他、電話やインターネット・文書による申込みも受け付けています。

□ 女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)(<http://winet.nwec.jp>)

女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会形成を目指した情報の窓口です。

“Winet”は下記3つの要素で構成されています。

◆女性情報ナビゲーション

リンク集。インターネット上の有用な資源への道案内。

◆国立女性教育会館作成のデータベース(別表参照)

◆女性情報CASS

会館作成のデータベース及び他の関係機関のデータベースの横断検索。

□ 国立女性教育会館作成データベース(件数は平成21年3月末現在)

女性教育情報センター所蔵資料のデータベース	図書 (72,766件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループが刊行した資料等について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	雑誌 (3,707件)	一般出版社が刊行した逐次刊行物、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の女性広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ、ニューズレター等について、誌名、発行者、所蔵年、所蔵巻号を主なデータとして登録しています。
	地方行政資料 (20,463件)	都道府県・市区町村の教育委員会、男女共同参画担当課(室)など地方自治体が発行した資料について、書名、著者名、発行者、ページ数、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード、分類を主なデータとして登録しています。
	和雑誌記事 (56,305件)	女性教育情報センター所蔵の逐次刊行物の中から、女性・家族に関する記事・論文を選択し、記事見出し、著者名、雑誌名、巻号、「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等を主なデータとして登録しています。
	新聞記事 インデックス (261,859件)	・昭和52年10月～昭和63年度:全国紙・地方紙約60紙に掲載された、話題となった女性(人材)に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。 ・平成元年度以降:全国紙・地方紙約50紙に掲載された女性・家族全般に関する記事について、記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録しています。
女性関連施設データベース (概要622件/事業14,983件 情報事業347件 相談事業308件)	全国の公私立女性/男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家等女性関連施設の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、2001年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。施設の名称、設置者、住所、設立年、設置目的、事業のねらい、プログラム、講師名、図書室等の面積、情報提供の種類、相談室の数、相談事業・特別相談事業の概要等を主なデータ項目としています。	
女性学・ジェンダー論 関連科目データベース (1,068大学、28,168科目)	大学、短大等の高等教育機関における女性学・ジェンダー論関連科目について、2000年度以降毎年の調査結果をデータベース化したものです。開講大学名、科目名、科目内容、開講場所、担当教員名、一般公開・非公開、対象課程等の学務関係の内容を主なデータ項目としています。	
女性と男性に関する 統計データベース (551件)	女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計をあらゆる分野にわたって取り上げ、データベース化したものです。数値を示す統計表をエクセルで収録し、注記や出典となった調査名や資料名も参照できるようになっています。	
男女共同参画人材 情報データベース (738件)	男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に際して参考としていただくため、人材の情報提供を目的としたデータベースです。国立女性教育会館の各種事業にご協力いただいた講師、委員等の方々の情報について、ご承諾を得られた方の、了承いただいた項目のみ公開しています。	

□ 女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winetの各データベースへ組込まれています。五十音順リストとカテゴリー一覧、また用語やカテゴリーから検索できる用語データベースも提供しています。

□ 女性情報レファレンス事例集 (183件)

女性関連施設でよくある情報相談（レファレンス）を、Q&Aの形式でまとめた事例集です。男女共同参画に関わる様々な情報をお探しの方、また情報提供に携わるスタッフに役立つ事例を提供しています。

□ 女性のキャリア形成支援サイト

女性が様々な新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくため、多様な事例（ロールモデル）、キャリア形成のための学習支援情報、関連情報を提供しています。

□ 情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っています。

□ 展示の実施

所蔵資料の紹介を目的に展示を行っています。

□ 女性アーカイブセンター

男女共同参画社会の形成に顕著な業績を残した女性、全国的な女性団体や、女性教育・男女共同参画施策等に関する史・資料を収集しています。

収集・整理した史・資料は、女性デジタルアーカイブシステム（<http://w-archive.nwec.jp/>）を通じて広く一般に公開し、展示、閲覧サービスを行っています。

展示室では所蔵資料の展示を行い、年に1度「チャレンジした女性たち」をテーマにさまざまな分野においてチャレンジした女性たちのあゆみをたどる企画展示を行っています。

平成22年1月に公開した「全国女性アーカイブ所在情報データベース（http://winet.nwec.jp/w-archive_japan/）」で国内の女性アーカイブ所蔵機関の情報を提供しています。

また、女性アーカイブに関わる実務者を対象に資料の管理、活用等に関する研修を行っています。



刊行物等



	資料名	内容	発行
定期刊行物	国立女性教育会館研究ジャーナル	男女共同参画の視点に立った生涯学習に関する国際的、学際的、実践的研究論文を公募して掲載する。会館の調査研究を国内外に発表するとともに公募論文を選考して掲載する。(有料頒布) ※平成22年度から名称を改め、女性エンパワーメント、男女共同参画の推進に関する研究報告、女性関連施設や女性団体の実践活動等を掲載する「NWEC実践研究」を発行する計画	年1回
	又エックNews	会館の事業及び関連情報の紹介・広報。	年2回
	NWEC Newsletter	NWECの活動及び最新の日本女性の現状について英文で海外に紹介する。	年2回
	国立女性教育会館(又エック)主催事業実施報告書	各年度に実施した研修・交流・調査研究・情報事業の実施概要。	年1回
報告等	アジア太平洋地域の人身取引問題と日本の国際貢献 —女性のエンパワーメントの視点から—	平成17～18年度の科学研究費補助金(基盤研究B)研究成果報告書。地球規模の課題である人身取引の問題について、女性のエンパワーメントの視点から学際的研究者でまとめた。	平成19年度
	子育て支援におけるアウトリーチの取り組み—地域の人材を活かして支援を届けるしくみづくり—	子育て支援におけるアウトリーチの取り組みを地域において進めていくにあたって欠かせない地域人材の育成・活用としくみづくりについて、取り組み事例や課題解決に向けた方策等を実践に役立つ基礎資料としてまとめた。	平成19年度
	社会教育施設における新しいプログラム展開のための実践ガイド:女子中高生の理工系進路選択を支援するプログラムとは?	社会教育施設において女子高生の理工系進路選択支援に取り組む意義や、事業を効果的に展開するための具体的な方法、プログラムの展開例等を検討し、資料としてまとめた。	平成19年度
	女性のNPO活動の現状と課題 —キャリア支援から地域づくりへ—	平成18～19年度「女性のキャリア形成のためのプログラムに関する調査研究」の成果報告書。女性が代表をつとめるNPO法人への質問紙調査の結果をもとに、必要なプログラムのあり方を検討した。	平成19年度
	人身取引(トラフィッキング)問題について知る	一般市民、学生等に人身取引の問題について理解してもらうためのわかりやすい啓発用参考資料を作成した。	平成19年度
	女性関連施設における事業評価に関する調査報告書	「平成19年度女性関連施設に関する調査研究」として、女性関連施設における事業評価の実態についての質問紙調査を行い、その結果をまとめた。	平成19年度
	男性の次世代育成支援活動への参画とその促進取組み事例集 —学習と活動の循環と男女共同参画の視点—	平成20～21年度「地域活性化に向けた男女共同参画推進に関する調査研究」の一環として行った男性の次世代育成支援活動への参画とその促進に関するインタビュー調査をもとに、学習と活動の循環と男女共同参画の視点から取り組み事例をまとめた。	平成20年度
	「人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」報告書	平成19～20年度に実施した「人身取引の多面的防止・教育・啓発に関する調査研究」の概要と成果をまとめた。	平成20年度
	連携・協働を推進しつつ、地域づくりに参画する人材が育つために	「平成20年度女性関連施設に関する調査研究」として、これまでの2年間の調査結果に基づき、女性関連施設職員、行政職員等に向けて、「実践・活動に結びつく」学習のプログラムを開発し、その開発の過程を、報告書にまとめた。	平成20年度
	時代を拓く女性リーダー	開館30周年を記念して行われた女性の人材育成支援に関する国際シンポジウム・専門家会議に参加した女性リーダーの報告、発言、討議等をまとめた。(有料頒布)	平成20年度
男女共同参画統計データブック —日本の女性と男性—2009	社会全体の中の女性と男性の状況を把握するためのデータ集。人口、家族と世帯、労働、教育など12分野にわたる。「男女共同参画統計データブック 2003～2006」で好評を得た附属資料など、内容の充実をはかった改訂版。(有料頒布)	平成20年度	

※定期刊行物等の閲覧について／定期刊行物である国立女性教育会館研究ジャーナル、又エックNews、NWEC Newsletterは、NWECのホームページ（URL:<http://www.nwec.jp/>）でどなたでも閲覧できます。報告書等については、国立女性教育会館までお問い合わせください。

利用状況



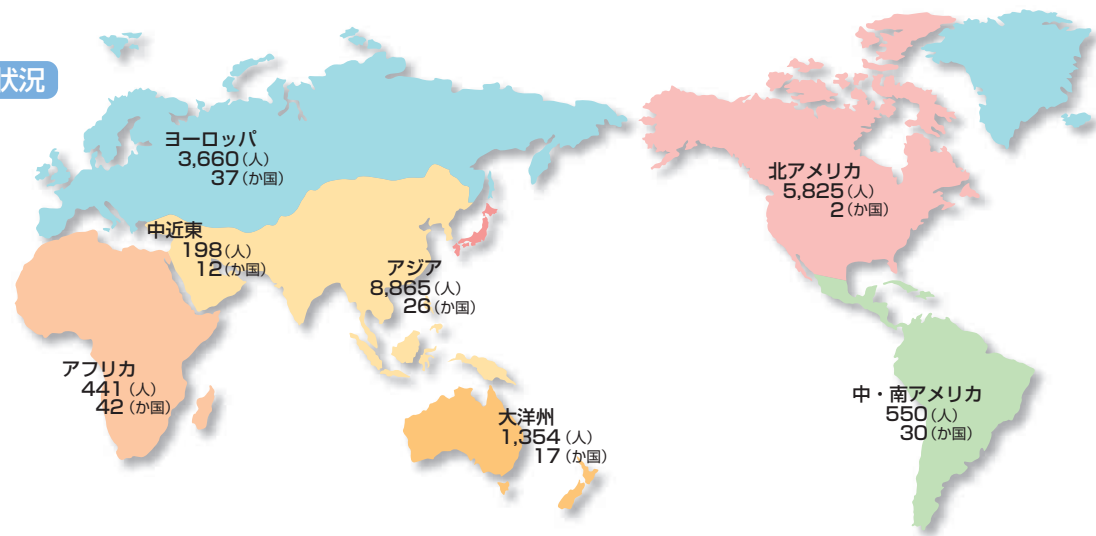
年度別利用状況(昭和52年度～平成20年度)

年度	平成18年度			平成19年度			平成20年度			累計(昭和52年～)		
	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計	宿泊利用	日帰り利用	小計
利用団体数	1,161	2,191	3,352	1,138	2,451	3,589	1,140	2,665	3,805	32,708	31,133	63,841
実利用者数(人)	37,540	67,516	105,056	36,334	73,602	109,936	37,325	85,137	122,462	1,152,838	935,999	2,088,837
延利用者数(人)	76,161	67,516	143,677	78,492	73,602	152,094	78,272	85,137	163,409	2,492,693	935,999	3,428,692
1日当たりの利用者数(人)	227	202	429	232	218	450	232	252	484	239	90	329
開館日数(日)			335			338			338			10,415

外国人の利用状況

国際会議、国際交流、見学等を目的とする外国人の利用状況は、開館以来平成21年3月末で、166か国から、20,893人となっています。

地域別来館状況



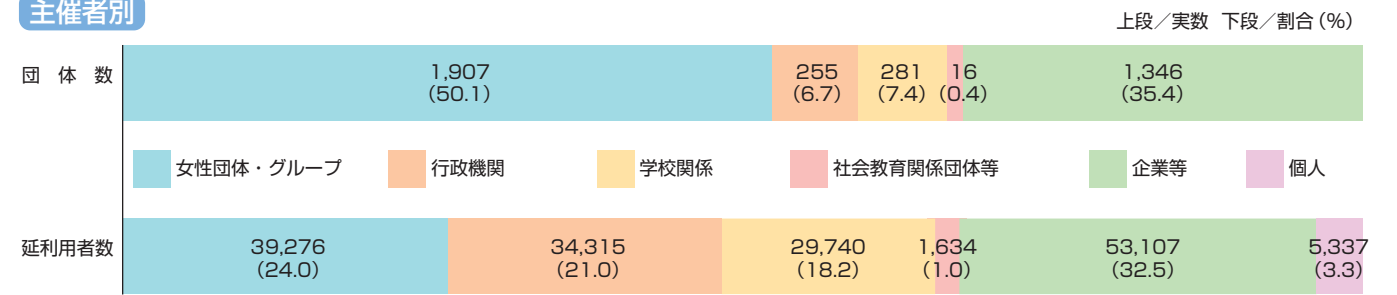
女性教育情報センター利用状況(昭和54年度～平成20年度)

事項	年度	昭和54～平成19年度	平成20年度	累計
資料等利用者総数(人)		15,328	8,938	24,266
貸出数	図書(冊)	57,440	1,846	59,286
	雑誌(冊)	27,512	588	28,100
	研修用貸出資料(冊)	37,249	1,932	39,181
レファレンスサービス(件数)		32,317	1,222	33,539
文献複写サービス(件数)		9,732	2,431	12,163
館外貸出サービス(件数)		1,537	328	1,865
情報研修プログラム(件数)		342	6	348
情報研修プログラム(人数)		8,263	60	8,323
開室日数(日)		9,318	338	9,656

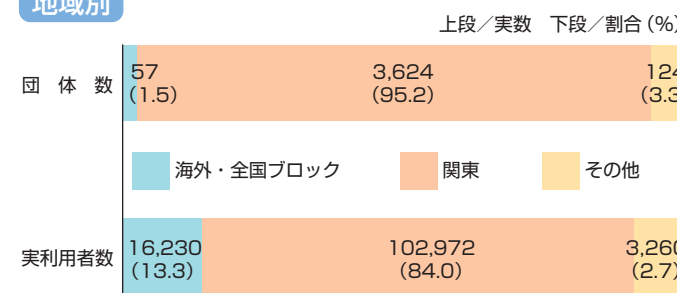
※資料等利用者総数は、平成18年度より集計
レファレンスサービス……昭和56年度開始
文献複写サービス……昭和56年度開始
館外貸出サービス(機関のみ)……平成4年度開始

利用内訳(平成20年度)

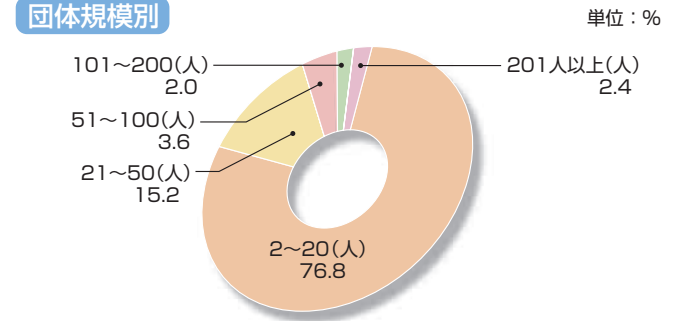
主催者別



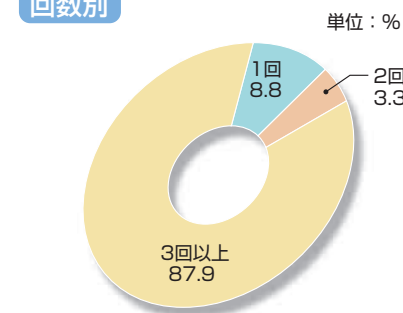
地域別



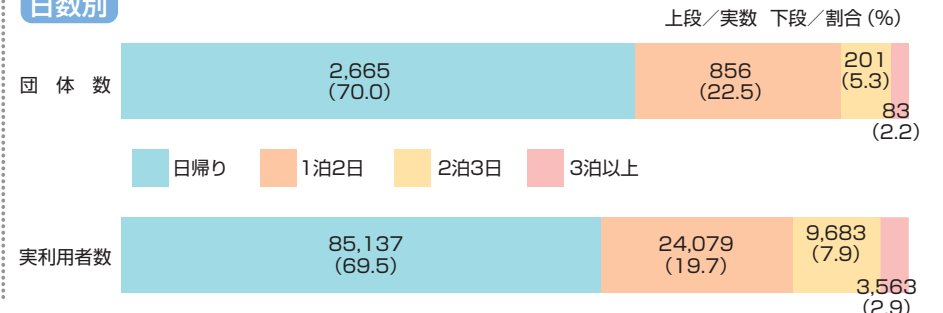
団体規模別



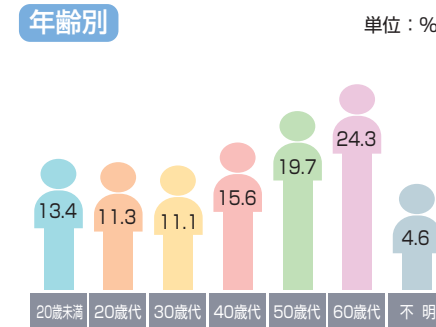
回数別



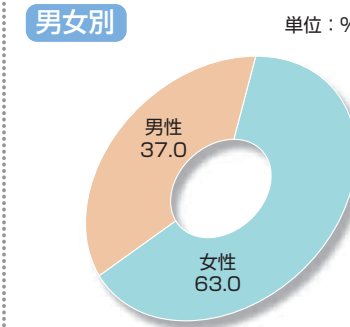
日数別



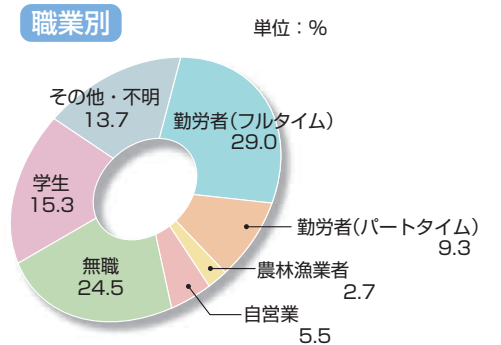
年齢別



男女別



職業別



トピックス

平成21年

	時期	項目
	2月	<p>「交流学习会議」開催</p> <p>2月13日(金)～15日(日)2泊3日で、「交流学习会議」を、全国から112名の出席者を得、開催しました。これは、会館の研修・交流事業の成果の普及、会館と地域の関係強化を図るため、昨年初めて開催したものです。</p> <p>これまで会館の主催研修・交流事業に参加し、その後、地域で実践活動をしている団体・グループのメンバー、男女共同参画行政・女性教育行政担当者、女性関連施設職員等の方々が全国から参加し、①男女共同参画の推進に関する最新情報の提供や、②実践を通じた意見交換・情報交換を行いました。</p> <p>会館への国内研修をきっかけに発足以来41年を迎える女性団体、女性の政治参画に向けた人材の養成に取り組む女性グループの実践等、さまざまな活動が報告され、地域づくりに参画している女性たちの力強い実践が報告されました。</p>
	3月	<p>「フィリピン大学機構と学術協力に関する協定」締結</p> <p>3月11日(水)に、フィリピン大学機構と学術協力に関する協定を締結しました。</p> <p>協定締結以前より、「女性のエンパワーメント国際フォーラム」、「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」へ専門家、シンポジストとして出席いただいている外、人身取引に関する調査研究においてもご協力いただけてきました。</p> <p>両機関は、協定締結を契機として、男女共同参画に関する比較、共同研究、情報交換等の学術協力を更に深めるほか、国際会議・セミナー等の開催について協力を行っていくこととしています。</p>
	5月	<p>「国別研修ナイジェリア」開催</p> <p>5月6日(水)～5月28日(木)まで、「国別研修ナイジェリア:ジェンダー平等なコミュニティ開発計画」を開催しました。本研修は、国際協力機構(JICA)が実施する「女性の生活向上のための女性センター活性化支援プロジェクト」の関係者である女性開発センター職員及びカノ州女性省職員を対象に、女性のエンパワーメント支援のための知識や技法を学ぶことを目的としています。</p> <p>平成21年度は、カノ州の女性開発センターを管轄する地方行政官を招聘し、埼玉県及び愛知県において、日本の女性関連施設の機能と役割、農村における女性の起業、女性の生活向上に役立つ食品加工や染色技術などについて研修を行いました。</p>
	5月	<p>「中国延辺大学女性研究センターと交流・協力協定」締結</p> <p>5月12日(火)に、中国延辺大学女性研究センターと交流・協力協定を締結しました。</p> <p>協定締結式は、中国吉林省延吉市にある延辺大学にて行われ、センター長にあたる中国延辺大学女性研究センター 金花善主任の協定締結を歓迎する旨の挨拶に続いて、理事長から相互の交流・協力による両機関の一層の発展を祈念する旨の挨拶があり、協定書へ署名が行われました。</p> <p>両機関は、協定締結を契機として、男女共同参画関連の教育、比較・共同研究、情報交換等の事業交流及び人的交流を更に深めるほか、国際会議・セミナー等の開催について協力を行っていくこととしています。</p>
	5月	<p>「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」開催</p> <p>5月29日(金)～30日(土)の1泊2日で、「家庭教育・次世代育成のための指導者養成セミナー」を実施しました。地域の子育て支援ネットワーク形成上、重要な役割を担う多様な立場の方々が、全国各地からそれぞれの問題や課題をもち参加しました。</p> <p>地域全体で家庭・親等を支援する必要性が言われている昨今、本セミナーでは、「ワーク・ライフ・バランス時代の子育て支援」「地域ぐるみの活動と男性の参画支援のための学習機会の提供」の2つの内容を取り上げ、地域における男性の次世代育成支援活動への参加促進等、地域の活性化を図り男女が共に活躍できる方策を検討しました。</p> <p>企業をはじめとする様々な機関の方との情報交換・交流を深める場ともなり、参加者が今後地域において活動する大きなヒントとなりました。</p>

	時期	項目
	6月	<p>「女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」開催</p> <p>6月18日(木)～20日(土)の2泊3日で、「女性関連施設・団体リーダーのための男女共同参画推進研修」を開催(管理職コースは、特定非営利活動法人全国女性会館協議会と共催)しました。</p> <p>この研修は、地域での男女共同参画推進をめざし、女性関連施設管理職、団体リーダーのエンパワーメントと連携・協働関係の構築を支援することを主な目的としました。国立女性教育会館が実施した女性関連施設や団体・NPOに関する調査研究の結果や参加者のディスカッションを通して課題を明らかにし、ワークショップで、実践事例を参考に課題解決の方法について考えました。</p> <p>研修受講者は、地域で男女共同参画を推進するリーダーとして、第2ステージの実現に向け、事業の充実や組織のエンパワーメントなどを学び、他地域との情報交換を行いました。</p>
	8月	<p>「女子中高生夏の学校2009～科学・技術者のたまごたちへ～」開校</p> <p>8月13日(木)～8月15日(土)の2泊3日で、「女子中高生夏の学校2009～科学・技術者のたまごたちへ～」を開校しました。この事業は、独立行政法人科学技術振興機構委託事業で日本学術会議「科学と社会委員会科学力増進分科会」との共催により実施したものです。Initiation, Interaction, Internationalをキーワードに科学技術者、夏学卒業生の学生TAなどロールモデルとの親密な交流を通して科学・技術分野への魅力を伝え、理工系分野への進路を考える機会を提供しています。</p> <p>今回は、女子中高生だけではなく、保護者・教員用プログラムを設け身近な支援者への理解を深めました。女子中高生は、メンターの支援を受けながら、プログラム終了後自分の周りに科学・技術の面白さを広めるアンバサダー活動を積極的に進めます。</p>
	8月	<p>「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)」開催</p> <p>8月28日(金)～30日(日)の3日間、「女性のエンパワーメントと男女共同参画社会づくり～学ぶつながる・広がる・変わる～」を主題とした、「男女共同参画のための研究と実践の交流推進フォーラム(NWECフォーラム)」を開催しました。全国各地から約1,300名の参加者が集まりました。</p> <p>各地から募集した団体や、当会館、文部科学省、基本問題・計画専門調査会提供のワークショップでは、地域での実践、研究の成果等様々な取り組みが発表されました。それぞれの会場では、課題について情報収集、意見交換が活発に行われました。</p> <p>また、男女共同参画社会基本法制定10年の歩みと現状に関する「基調講演」、女子差別撤廃条約国連採択から30年を振り返る「アンバーサリートーク」、及び女性の多様なキャリア形成とエンパワーメント、これからの男女共同参画の方向性を考える「リレートーク」も行いました。</p> <p>新たな仲間を得、活動への意欲を膨らます参加者の熱気で、終始賑わう三日間となりました。</p>
	10月～12月	<p>女性アーカイブセンター企画展示「女性科学者の誕生～チャレンジした女性たち～」開催</p> <p>10月6日(火)から12月13日(日)にかけて、女性アーカイブセンター企画展示「女性科学者の誕生～チャレンジした女性たち～」を開催しました。</p> <p>まだ科学者が女性の職業とは考えられていなかった時代、未知の世界に挑戦した5人のパイオニア女性、丹下ウメ(女性初の帝大生、日米で博士号取得)、保井コノ(女性博士第一号)、黒田チカ(女性初の帝大生、女性初の理学士)、辻村みちよ(女性初の農学博士)、鈴木ひでる(女性初の薬学博士)をとりあげ、お茶の水女子大学、日本女子大学等、関係各機関の協力を得て、女性科学者と、彼女たちを支えた人々について紹介しました。実際に使用された実験器具や直筆スケッチ、当時の文献・写真などを展示し、展示室には会期中3,005名が訪れました。</p>
	10月	<p>「女性のキャリア形成支援推進研修」開催</p> <p>10月7日(水)～9日(金)の2泊3日で「女性のキャリア形成支援推進研修」を開催しました。</p> <p>本研修では、女性一人一人が置かれた状況に応じて多様なキャリアの視点に留意しながら個人の活動を社会の活動に結びつける視点を導入し、長期的視野に立った女性キャリア形成支援を学び合いました。</p> <p>多様なキャリアのとらえ方を理解し、大学生等キャリア支援コース、再チャレンジ支援コース、社会活動キャリア支援コースの3つのコースごとにロールモデル分析、事業(学習)計画案づくりなどを行いました。グループディスカッションや情報交換会では、参加者同士が交流を深め互いの課題を共有するなど、研修を通じてそれぞれの地域でのキャリア形成を支援する活力とヒントを得ることができました。</p>



施設



時期	項目
10月	「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」開催 10月21日(木)～10月31日(土)まで、「女性に対する暴力の撲滅」をテーマとして、「アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」を開催しました。アジア太平洋地域8ヵ国(インドネシア、韓国、カンボジア、タイ、ネパール、パプアニューギニア、バングラデシュ、フィリピン)から、国内本部機構、非政府組織、教育機関で活躍している女性リーダー11名が参加しました。 セミナー期間中に研修生は、内閣府男女共同参画局や文部科学省を訪問し、日本政府の男女平等施策や人権教育についての理解を深めました。また、日本在住の外国籍市民を対象とした保健医療活動をおこなっているNGOや社会貢献活動としてドメスティック・バイオレンス(DV)の被害を受けた女性に支援を提供している企業、医療機関でのDVの早期発見の先進的な取り組みを実施している看護大学を訪問し、多様な支援のあり方を学びました。研修最終日の10月31日には「国際協力機構(JICA)」の後援を得て、市ヶ谷の「JICA 研究所」で開催された「平成21年度女性のエンパワーメント国際フォーラム」にパネリストとして参加し、各国の共通課題であるVAW(Violence Against Woman)の撲滅のための問題提起と政策提言のプレゼンテーションを行いました。
10月	「女性のエンパワーメント国際フォーラム」開催 10月31日(土)に「女性に対する暴力の撲滅に向けて」をテーマとして、「女性のエンパワーメント国際フォーラム」を開催しました。 「国際フォーラム」は二部形式で実施され、第一部では、会館が研究協力協定を締結しているフィリピン大学女性学センター所長のシルビア・エストラーダ・クラウディオ氏によるフィリピンにおける女性に対する暴力撲滅の取り組みに関する基調講演がおこなわれました。第二部では、「国際フォーラム」に先立って会館が実施した「平成21年度アジア太平洋地域の女性リーダーエンパワーメントセミナー」の11名の研修生が、ふたつのグループに分かれて12日間の研修成果を、「女性に対する暴力撲滅のための政策提言」として発表しました。
11月	男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク) 11月17日(火)～20日(金)の4日間、男女共同参画交流特別週間(らんざん交流ウィーク)を設けました。この事業は、期間中、会館を利用する団体や個人が、会館が提供する男女共同参画等に関する講演・講義、会館の施設や事業に関する情報提供等のプログラムに参加し、自由に交流や情報交換を行うものです。 「キャリアプログラム」では、“国際協力専門家”“研究者”“職人”“社会起業家”の方々が講演を行い、女性のキャリアや生き方を考える機会となりました。また、統計から日本の男女共同参画の現状を知る「統計プログラム」や、住宅から地球環境を考える「環境プログラム」、会館ボランティアによる「文化プログラム」等さまざまなプログラムを実施しました。
11月～12月	「国別研修タイ」開催 11月24日(火)～12月4日(金)まで、国際協力機構(JICA)の委託を受け、「人身取引に関する日本・タイ合同ワークショップ」研修を開催しました。 タイでは、人身取引の被害者保護と自立支援のための関係機関の連携協働を促進するプロジェクトが日本の支援で進められています。中央・地方政府の被害者保護・シェルター関係者を中心に、検察・警察、NGOで構成された研修メンバー15名が来日しました。 研修期間中は、国際的な協力・連携が必要とされる人身取引の問題解決に向けて、関係省庁・機関との意見交換や官民シェルターの視察、在日タイ人グループの活動を知る機会が持たれました。参加者は、日本の人身取引対策行動計画に基づいた施策を中心に、被害者の保護と帰国支援に関わる両国関係機関の役割や、防止のための被害者情報のあり方、両国の法制度の違い等について理解を深めました。参加者からは、「関係者との信頼・協力関係が強化された」、「今後の活動に日本の取り組みをいかす」等の意見がよせられました。



東京・池袋(東武東上線)より所要時間60分、武蔵嵐山駅西口より徒歩15分、清流の都幾川に沿う緑豊かな丘陵地で、秩父連山を遠くに望む景勝の地です。

施設は14ヘクタールの敷地に自然との調和を配慮し、「陽に向かい陽に帰る」の考えで、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置しています。

所在地	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷728番地
設計	日建設計
監理	建設省関東地方建設局 営繕部 日建設計
敷地面積	138,556㎡
建築総面積	13,144㎡
延床総面積	28,262㎡



□ 棟別階数・構造及び面積等

名称	構造・階級	延床面積
本館(内女性教育情報センター)	鉄筋コンクリート造3階・地下1階建	8,509㎡ (1,085㎡)
宿泊棟	A棟 鉄骨・鉄筋コンクリート造8階・地下1階建 B棟 鉄筋コンクリート造4階建 C棟 鉄筋コンクリート造3階建	8,660㎡
研修棟	鉄骨・鉄筋コンクリート造3階建	7,470㎡
体育館	鉄骨・鉄筋コンクリート造平屋建	1,206㎡
響(ひびき)書院	木造平屋建	198㎡
和(なごみ)庵(茶室)	木造平屋建	18㎡
クラブハウス(運動器具庫)	鉄筋コンクリート造平屋建	118㎡
車庫等		956㎡

□ 本館・宿泊棟

名称	内容		施設使用料(円)
女性教育情報センター	閲覧席30(席)	図書資料・雑誌類・新聞類(開架式)	無料
	閲覧個室2(室)		無料
女性アーカイブセンター閲覧室	閲覧席6(席)	非公刊の記録資料(開架式)、本館3階	無料
女性アーカイブセンター展示室		本館1階	無料
展示ホール		本館1階	—
医務室		本館1階	
ボランティアルーム		宿泊棟A棟1階	—
音楽室	50(人)	グランドピアノ・ステレオ等	
美術・工芸室	30(人)	七宝焼窯・陶芸用窯・ろくろ等	400円～600円
調理室	32(人)	調理台9台	500円～800円
試食室	32(人)	テーブル8台	300円～500円
幼児室		幼児20名まで収容可能	無料
食堂	300(席)	カフェテリア方式	—
売店		学習用具・日用品等	
駐車場		バス20台 乗用車170台 この他、草原運動場そばにも駐車スペースがあります。	—
ミーティングルーム	1(室)	50人用	
談話室	7(室)	各20人用	無料
浴室	3(室)	大・小・車椅子使用者用各1室	—

□ 宿泊研修施設

種別	内容	A棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C棟 (トイレ付)	室数	宿泊者数	施設使用料(円)
和室	4人用 26室	—	14室	12室	28室	104人	2,000円～2,600円 (1人当たり)
	2人用 2室	2室	—	—		4人	2,200円～2,800円 (1人当たり)
洋室	2人用 98室	58室	28室	12室	137室	196人	2,000円～2,800円 (1人当たり)
	1人用 39室	39室	—	—		39人	2,400円～3,000円 (1人当たり)
宿泊室合計		99室 (159人)	42室 (112人)	24室 (72人)	165室	343人	



宿泊棟A棟



洋室(2人用)



和室(4人用)

□ 研修棟

種別	内容	室数	内容	施設使用料(円)
講堂	602人	1	車椅子用移動座席・エレベーター、同時通訳装置、グランドピアノ、音響反射板	4,700円～7,500円
会議室	大会議室 122(人)	1	机等の配置：スクール形 外に傍聴席38、同時通訳装置	1,600円～2,600円
	中会議室 40(人)	1	机等の配置：馬蹄形	500円～900円
	小会議室 12(人)	1	応接セット(12人用)	300円～600円
研修室	150人室	1	机等の配置：スクール形	1,100円～1,800円
	99人室	1	〃	800円～1,200円
	48人室	4	〃	400円～700円
	36人室	1	〃	400円～600円
	24人室	2	〃	300円～400円
	20人室	6	机等の配置：トラック形(長楕円形)	300円～400円
	マルチメディア研修室	1	パソコン31台、プリンター2台	800円～1,100円
控室	団体控室	4	机等の配置：ロの字形 研修室としても使用できます	200円
	講師控室	4	ソファーセット 研修室としても使用できます	100円



研修棟・講堂入口



講堂



大会議室



201研修室



マルチメディア研修室

□ 体育施設・日本家屋等

種 別	内 容	施設使用料 (円)
体育館	31m×25m(775m ²):バレーボール(2面)、バドミントン(3面)、フットサル(1面)、卓球台(10台)、その他	3,500円～5,800円
テニスコート	5面(全天候型・砂入人工芝)	900円～1,200円 (1面当たり)
クラブハウス(運動器具庫)	シャワー、トイレ	無料
草原運動場	約12,000m ²	無料
響(ひびき)書院	茶室15畳、4.5畳、座敷10畳	1,200円～1,700円
和(なごみ)庵	茶室	
ウォーキングコース	1kmコース、2kmコース	無料

NWECウォーキングコースのご案内



日本女子体育大学の監修を受け、健康づくりに有効で、安全にも配慮したコースです。会館の周りは自然がいっぱい。緑の中を歩いて、心も体もリフレッシュしませんか。お気軽にご利用いただき、皆さんの心身の健康づくりに是非お役立てください。

■ご利用時間
・8:00～18:00(冬場は日没まで)・宿泊の方は6:00からご利用になれます。

■ご利用方法
・利用申込みは不要です。
・正門ゲート事務所にある来館者票に必要事項をご記入のうえご利用ください。
・ペットを連れての入館はご遠慮ください。
・コースは1km・2kmの二種類です。
・コースにはスタートからの距離や進行方向を設置しています。
・準備体操をして、その日の体調に合わせて、無理のないウォーキングをしましょう。

利用案内

□ 利用できる方

- 女性・男性を問わず、ご利用になれます。
- ・18才未満の方には、保護者・教員等の引率(同伴)が必要です。
※保護者、引率者がいない場合にはご相談ください。
 - ・未就学の方の同伴利用については、次の場合とさせていただきます。
 - ①利用プログラム上必要な場合、②幼児室にて団体内の方、又は専門の業者等による保育を行う場合
 - ・営利目的及び特定の政党、宗教の勧誘・啓発・普及を目的とした利用はできませんのでご了承ください。

□ 利用者の区分

《目的利用者》

以下の①～③のいずれかに該当する方は「目的利用者」となります。

- ①女性・家庭・家族、又は男女共同参画に関する教育、学習、調査研究、情報収集及び交流等を目的とした利用を行う方
- ②国立女性教育会館を利用する学習、研修の一部に女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムがある利用を行う方
- ③国の機関及び地方自治体の女性・家庭・家族、男女共同参画に関するプログラムによる利用を行う方
例:女性団体・グループの総会、女性のキャリア形成についての学習会、男女共同参画に関するゼミ合宿、PTAの研修会、子育て・食育・親子の体験活動などに関する学習、女性教育情報センターにおける資料閲覧・収集等

《一般利用者》

上記に該当する方以外は一般利用者となります。

□ 申込受付期間

区 分	受 付 期 間	
目的利用者	宿泊利用	利用の12か月前の月の1日から利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10か月前の月の1日から利用の10日前まで
一般利用者	宿泊利用	利用の10ヶ月前の月の1日から利用の10日前まで
	日帰り利用	利用の10日前まで

お問い合わせ(電話・文書または来館)

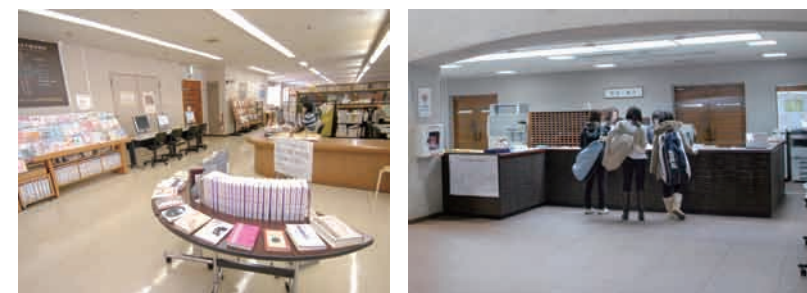
国立女性教育会館(ヌエック) 予約係
〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
TEL/0493-62-6723(申込み専用)
FAX/0493-62-4399
E-mail/yoyaku@nwec.jp
ホームページ/http://www.nwec.jp/

利用申込書の提出

受 付

入 館

女性教育情報センター(p6)は、予約なしでどなたでも利用いただけます。



国立女性教育会館ボランティア

□ ボランティアの受け入れ

利用者及びボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受け入れています。

□ ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供しています。



- ①情報提供及び交流:連絡会議(年4回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティアまたボランティア相互の連絡・交流を図っています。
- ②研 修 活 動:ボランティアと会館が共に学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」などを適宜実施しています。
- ③自 主 活 動:ボランティア相互の自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしています。
- ④活動状況の広報:「ヌエックNEWS」のボランティアコーナーやホームページ等を活用して、活動内容、活動状況を広報しています。

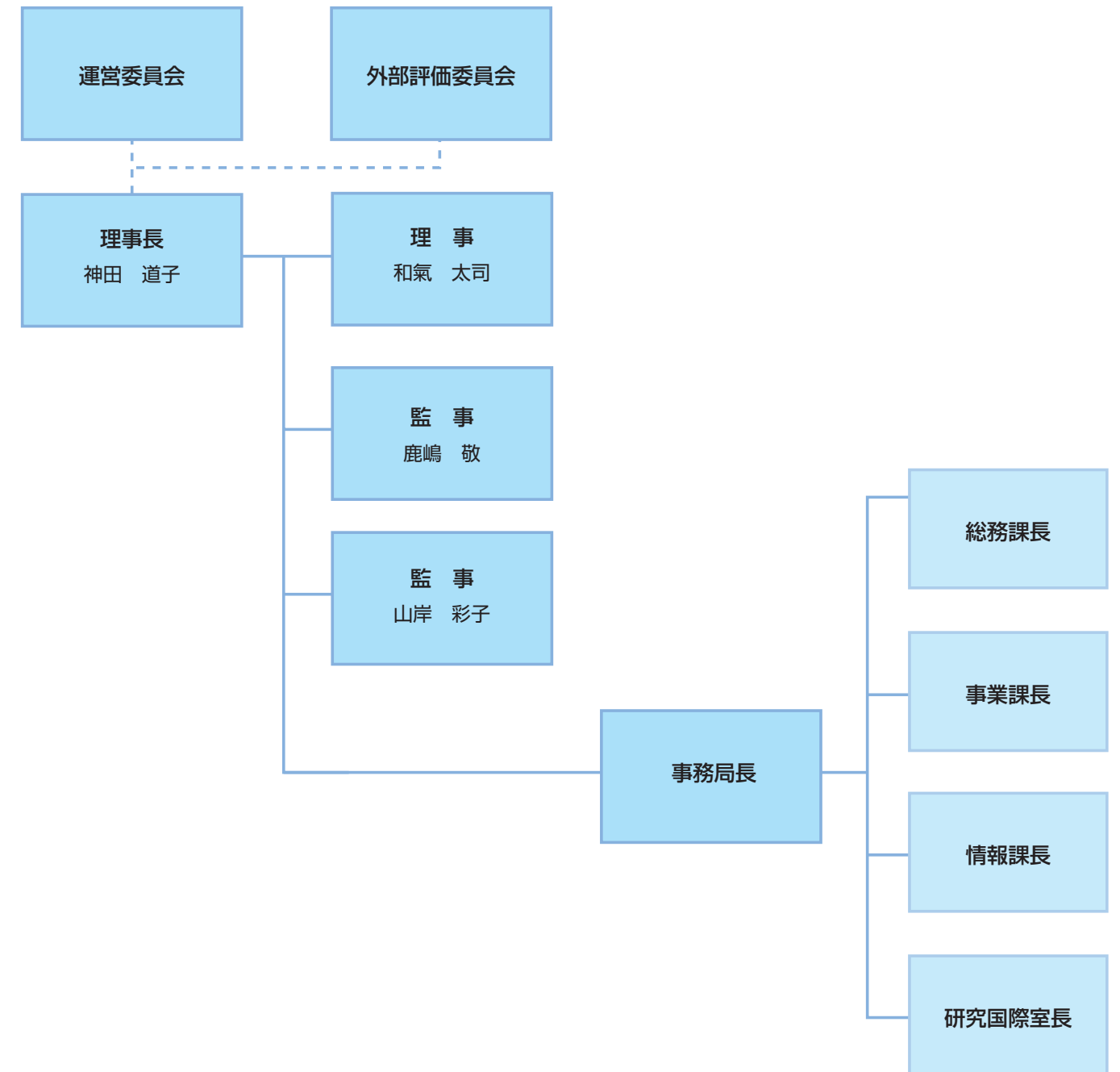
運営委員会委員



平成22年1月1日現在

氏名	現職
蟻川 芳子	日本女子大学 学長・理事長
江尻 美穂子	国際婦人年連絡会 世話人
大島 照美子	財団法人新潟県女性財団 理事長
小原 由美子	独立行政法人国立公文書館 公文書専門官
片山 善博	慶應義塾大学 法学部政治学科 教授
上村 直子	特定非営利活動法人J-Win(ジャパン・ウイメンズ・イノベティブ・ネットワーク) 副理事長
黒田 一雄	早稲田大学大学院 アジア太平洋研究科 教授
佐藤 和子	特定非営利活動法人静岡県男女共同参画センター交流会議 代表理事
佐藤 道明	日本労働組合 総連合会 埼玉県連合会 事務局長
柴崎 信三	独立行政法人国民生活センター 理事
島村 和男	埼玉県教育委員会 教育長
高島 秀子	特定非営利活動法人全国女性会館協議会 理事／埼玉県男女共同参画推進センター所長
田中 雅文	日本女子大学 人間社会学部教育学科 教授
中畔 都舎子	全国地域婦人団体連絡協議会 会長
中橋 恵美子	特定非営利活動法人わははネット 理事長
野上 武利	社団法人埼玉県経営者協会 顧問
羽入 佐和子	お茶の水女子大学 学長
宗像 道子	社団法人共同通信社 編集委員兼論説委員
矢澤 澄子	東京女子大学 現代教養学部国際社会学科 教授
渡辺 三枝子	立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科 教授(特任)

組織図



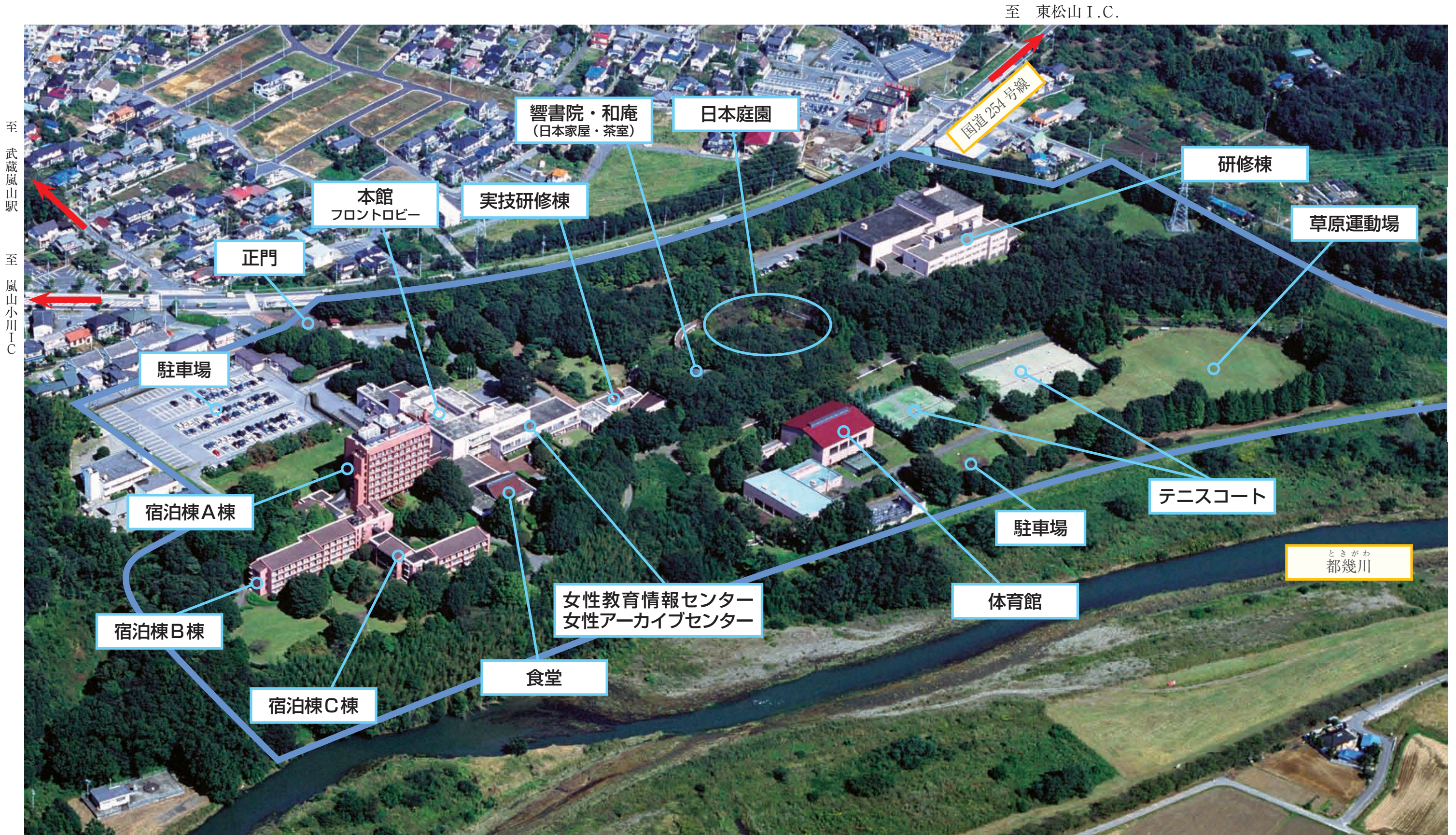
外部評価委員会委員



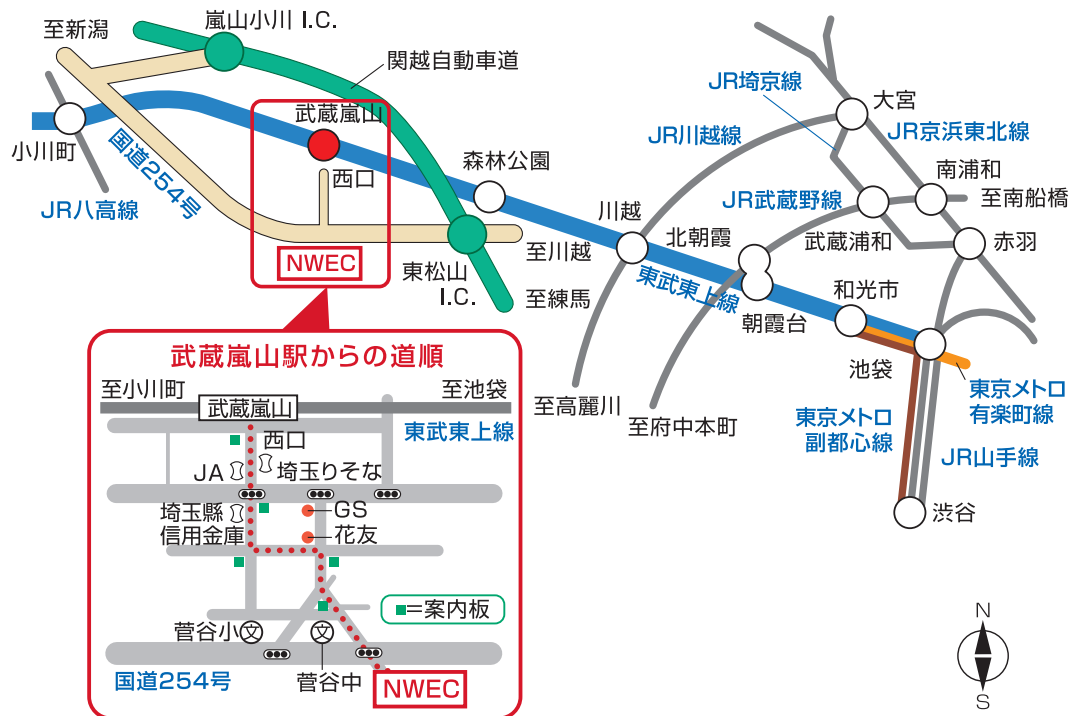
平成22年1月1日現在

氏名	現職
有馬 真喜子	特定非営利活動法人国連女性開発基金日本国内委員会 理事長
笹井 宏益	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官
澤野 由紀子	聖心女子大学 文学部 教授
松下 俱子	学校法人恵泉女学園 学園長
三隅 佳子	財団法人アジア女性交流・研究フォーラム 顧問

施設配置



■ 交通案内 / Access



■ 交通のご案内

電車では

会館最寄りの武蔵嵐山駅は、池袋から東武東上線急行で60分。会館は、東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩で15分。
 ※以下の駅から会館までタクシー利用で
 森林公園駅、小川町駅から15分、
 武蔵嵐山駅から5分
 ※武蔵嵐山駅から路線バス(イーグルバス)利用で約7分

自動車では

東松山I.C.(練馬I.C.から関越自動車道で35分)から国道254号で15分。
 新潟方面から嵐山小川I.C.から国道254号で15分。
 ※リムジンバス利用
 成田空港及び羽田空港から、リムジンバス(熊谷地区行き)を利用して森林公園駅北口まで行く方法があります。



独立行政法人 国立女性教育会館
 National Women's Education Center

〒355-0292
 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728番地
 TEL 0493-62-6719 (総務課)

総務課 FAX 0493-62-6722
 事業課 FAX 0493-62-6720
 情報課 FAX 0493-62-6721
 研究国際室 FAX 0493-62-9034

ホームページ <http://www.nwec.jp/>
 E-mail webmaster@nwec.jp